学校保健研究協議会

健康診断 年一回は専門医から
異状者を見すごすおそれも

◇二月二十一日、市産業厚生会館で学校保健研究協議会が開かれ、市内の三小◇学校から各学校の保健について現状と問題点、それに解決策などの発表があ◇りました。この中で「四月の定期健康診断では耳、のど、鼻の異状者はひと◇りもなかったのに、専門医から診断してもらったら七十㌫の異状者があり、◇そのうち診療を必要とするもの十・八㌫、診療をした方がよいもの二十五・◇三㌫もあった」と専門医の診断の必要性を松橋小養護婦の伊藤綾子さんは発◇表していました。

同協議会は〝各校の学校保健の現状と問題点を発表してもらい、それらについて話し合うなかで解決策を見い出そう〟と毎年一回開いて、三カ校くらいから発表してもらっています。

この日は、市内小・中学校の保健関係の先生が約四十人出席し、庄瀬、高井、松橋の各小学校の担当者がそれぞれつぎのような発表をおこないました。

地域ぐるみで消毒を

庄瀬小養護教諭　小黒洋子

児童に対する保健指導は学校だけでおこなっても効果があがらない。父兄の中では「歯みがきや洗顔はしてもしなくても良い」という人もいる。カやハエをなくすのに学校付近だけ消毒しても効果があがらない。地域ぐるみでの消毒ができるようにしたい。

一般に保健についての関心が薄いと思う。

簡易水道に大腸菌が

高井小教諭　斉藤百合

児童三人で上水道と簡易水道の水を検査した結果、上水道の水はだいたい良く消毒されていた。本校の場合は水のだしはじめはほとんど消毒効果がなくなっているので、六十秒くらい放水してから使用した方が良いとわかった。とくになま水を飲む場合はその必要がある。県の衛生研究所へ簡易水道水の検査を依頼したところ、大腸菌が発見され飲料水には不適当であることがわかった。早く上水道に切り替えるべきである。

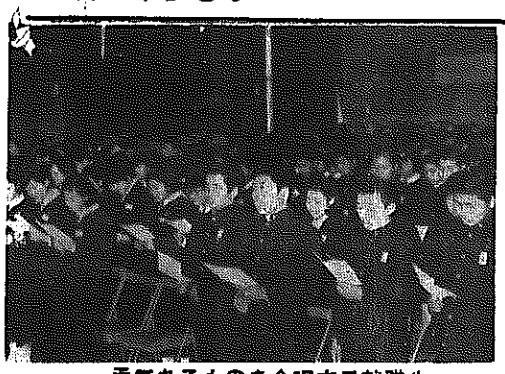
早期発見、早期治療を

松橋小養護婦　伊藤綾子

現在本校には鼻声、鼻のつけ根が扁平(へんぺい)している、鼻水がでているなどの児童がたくさんいる。これは児童の学習意欲、学力などにも影響するのではやくなおさなければならない。しかし四月におこなった学校医（内科専門）の健康診断ではひとりの異状もなかった。そして、一月に耳、のど、鼻の専門医から診断してもらったところ七十㌫の異状者が出て、そのうち治療を必要とするもの十・八㌫、治療した方がよいもの二十五・三㌫それぞれあった。これは耳、鼻、のどの診断を内科医の学校医に依存しているからだと思う。適切な指導は、正しい診断と正しい指示があってこそできるものと思う。全市を対象に年一回は専門医による診断がぜひ必要ではないかと思う。

早期発見、早期治療の意味からも。

仕事に熱意と愛情を
就職生を励ますつどい　先輩代表が励ます


勇気あるものを合唱する就職生

三月三日、市産業厚生会館で市教委と中学校進路指導委員会は「就職生を励ますつどい」をおこないました。これは九年間という義務教育課程を終え、すぐ社会に出る約三百五十人の生徒を励ますためにおこなわれたものです。

この日は、吉沢市長から励ましのことばを聞いたあと、先輩を代表して玉木進吾君と石沢昌子さんから「最初は自分の仕事がいやだったがその仕事に対して熱意と愛情を感じるようになってからは仕事が楽しくなった。みなさんもこれから社会に出ていろいろ苦しいこと悲しいことがあると思いますが、負けずにがんばってください」という励ましのことばを聞いていました。

このあと「勇気あるもの、ふるさと」などを合唱したり、新潟アマチュア奇術クラブ員の奇術を見たりしてこの日一日を楽しくすごし、「苦しいにつけ悲しいにつけこの日のことを思い出し、きっと一生けん命働らきます」とお礼のことばを述べていました。

〝必〟〝農〟協〟に〝返〟済〟を
特定毒物の残品、あきビン

二月二十二日、茨曾根小・中学校共同給食室に発生したアルミニウム製食カンとミルクポットに特定毒物の農薬（ホリドール）がついていたことはみなさんすでにご承知のことと思います。

この事件について白根警察署では県警捜査一課、同監識課の応援で調査しています。そこで、このことについて教育委員会、農政課、警察署などからつぎのように話しをしてもらいました。

教委の話　こんご食器などの日常の管理にはより細心の注意をはらい、いくら洗っても使用するときには点検をしてこのようなことがあっても未然に防げるよう指示し、健も内側からかかるように全部手配した。

農政課の話　こんご特定毒物は使用しないよう指導し、特定毒物の行政的、技術的な指導はいっさいしない。これからは低毒性のものを使用するよう指導してゆく。いま家庭にあると思われる薬品や空ビンについては回収するよう農協に指示してある。

警察の話　いまのような事件がおきてからではおそい。特定毒物は法によって残品はもちろん、空ビンがあっても農協に返済するよう決めてある。各農家で良心的に返し、安全な処理をしてほしい。他市町村では、空ビンで遊んでいた子どもが、そこへ水を入れて飲んだため死亡したことがあった。その管理には充分注意してほしい。

【農地報償金】
請求は三月三十一日まで

農地報償金の請求受け付けはことしの三月三十一日までとなっています。ですからこの期限を過ぎるとせっかくの報償金がもらえないことになります。該当者は期限までに忘れずに請求してください。

市内の該当者には農業委員会から通知を出していますが通知もれも考えられますのでもし、〝自分も該当するはずなのに通知が届かない〟という人がありましたら、すぐ同委員会（電話㉒二一一一）へ連絡してください。

批判、要求、協力を
吉沢市長　加茂農庄瀬分校で講演

三月一日、県立加茂農林高校庄瀬分校は、五十一人の卒業生を対象に「市政について」特別講演会を開きました。

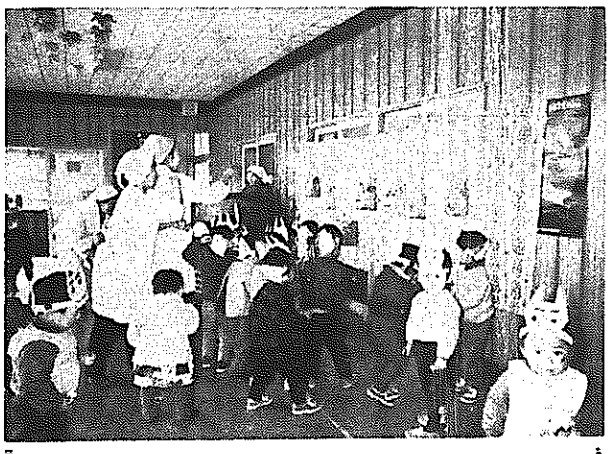
これは、吉沢市長を講師に迎え〝これから社会に出る人たちから市政についての現状を充分知ってもらって、地方自治体のおかれている立場を理解してもらおう〟とおこなったものです。

数年前までは「社会人となる心がまえ、異性関係について」などの講演がありましたが、三、四年前から吉沢市長が講師となったものです。

講演の内容　財政は非常に苦しい。反面市民からは減税しろ、舗装しろで要求が多くなる一方だ。これでは仕事をたくさんしろといわれてもできないのがあたりまえだ。

「批判すべきものは大いに批判し、要求をして、それと同時に協力もする」こういう形が本当の地方自治だと思う。

農業関係については、これからは米価などの価格政策だけにとらわれず、もっと構造政策に打ち込むべきだ。たとえば、機械を共同購入して、流通機構を改善し、共同販売、共同出荷をおこない生産から販売までを一本化するなど。最後に物事は一方的な見方をしないで、冷静に客観的に見て判断するように希望したい。



〝福はうち 鬼はそと〟
—乳児保育園で初の豆まき—

2月3日、乳児保育園で、はじめての豆まきをおこない、園児たちは先生の〝福はうち鬼はそと〟というかけ声にあわせて壁にかけた鬼の面に元気よくぶつけていました。

中には豆を持ったもののどうしたらよいかわからない小さな園児もいましたが「鬼の面にぶつけるのですよ」と教えられてようやくぶつけるというひとコマもありました。

それでもちゃめっ気のある3歳までの園児は、こわい鬼を相手に自由に豆をぶつけられるとあってこの日一日が楽しくてしかたがないといった様子でした。

棒踊り県大会へ出場
演劇「峠の青春」のひとコマ（茨曾根地区青年会）

二月二十六日（日）市教委と市連合青年団は市産業厚生会館で「第八回市青年芸能大会」を開きました。

これは、働らいている青年が同じ場所にあつまり、芸能文化の向上と友好親善を探めようとおこなったもの。

この日発表のあったものの中から臼井地区青年会の郷土芸能「棒踊り」が市内で一位になり、県大会に出場することになりました。

各部門の一位はつぎのとおりです。

◇第一部舞踊＝東京花笠踊り　石山トシエ（大郷）◇郷土芸能＝棒踊り（臼井地区青年会）◇第二部歌曲、民謡、歌謡曲＝あの星と語ろう（佐藤義勇　新飯田）

工業部会 卓球大会 一位は染色組合

二月十二日（日）市産業厚生会館で「第三回商工会工業部会卓球大会」が開かれ、二十チームの約百人の参加者は大いに奮闘しました。

この日は〝若いものにはまだ負けん〟とばかりに、役員さんも若いものといっしょになって試合をやったり応援したりしてハッスルしていました。

なお、成績はつぎのとおりです。

①染色組合②仏檀組合A③工業振興会④仏檀組合B

四月の農地相談室

市農委は、来月の農地相談室をつぎのとおり開きます。

農地の売買、交換、転用などすべての農地問題の相談は近くの相談室へ気軽るにお出かけください。

なお、同相談室は、四月からつぎの四カ所にしましたのでご理解ください。

在室	駐
4月	
17日	鷲　巻
18日	庄　瀬
19日	臼　井
20日	新飯田

四月の産業育成資金

来月の産業育成資金はつぎのような方法でおこなわれます。希望されるかたは期限までに申し込みください。

1.申し込み期限と場所　毎月二十五日までに市商工課か各駐在室へ申し込みください

2.お貸しする時期　毎月十日ころ審査し、その月の十五日ころお貸しします。

3.利率　日歩二銭三厘

4.資金の種類と限度額

資金の種類	限度額	期間
運転資金	50万円以内	6カ月以内
店舗改善資金	50万円以内	12カ月以内

5.金融機関　㋑市内の各銀行㋺第四銀行月潟支店㋩新潟信用金庫白根支店㋥協栄信用組合白根支店、同新飯田支店

なお、くわしく知りたいかたは市商工課（電話㉒二一一一）へ問い合わせください。

お知らせ

求人案内

日立建機（株）では、つぎのような方法で従業員を募集しています。

希望者は申し込み締め切り日までに申し込みください。

1.仕事の内容　車体整備、エンジン整備、熔接

2.受験資格　十六歳から二十六歳までの独身男子で学歴は問いません。

3.勤務先　㋑新潟サービス工場（通勤費を支給）㋺東京サービス工場（寮完備）

4.待遇

㋑始業八時二十五分、終業十七時二十分（一日実働八時間）

㋺休日　祝祭日、毎日曜日、隔週土曜日、夏休み、年末年始、創立記念日

㋩給与　経験年数などを考え合わせて決めます。

㋥その他　社会保険、企業年金、共済などに加入

5.申し込み先　新潟工場、東京工場ともに「日立建機（株）新潟サービス工場（市内鷲ノ木新田諏訪木島五六四八）へ申し込みください。

6.申し込み方法　履歴書と写真を送ってください。面接の日はのちほど通知します。

なお、くわしくは新潟サービス工場（電話大野局二七五一から三）へ問い合わせください。

中堅青年養成講座の合宿申し込みは二十日まで

市農政課ではつぎのような方法で「第二回中堅青年養成講座の合宿」をおこないます。希望者は期限までに申し込みください。

なお、くわしく知りたいかたは農政課（電話㉒二一一一）へ問い合わせください。

1.期日　三月二十二日、二十三日、二十四日、二十五日の三泊四日

2.会場　新潟市弁天町「県青年の家」

3.参加資格　市内に住む十八歳から二十五歳までの青年男女

4.申し込み締め切り　三月二十日

表札・郵便受け箱 各家庭にそなえを

最近新しい住宅がどんどん増え、市役所から出るいろいろな連絡文書のあて先がどの家なのかわからず、配達する人がたいへんこまっています。そこで①家には表札か名刺などなんでもけっこうですから表札にかわるものを出しておいてください②ゐすがちな家庭には郵便受け箱のそなえをというふたつをぜひ実行して、文書配達がスムースにできるようみなさんの協力をお願いします。